

地域母子保健福祉情報紙 No.273

公益社団法人 母子保健推進会議

親子保健

お や こ ほ け ん

定款第 1 章第 3 条 目的（抜粋）
国及び地方自治体
関係諸団体と連携協力して
母子保健の重要性を啓発し
母性の健康を守り たかめ
心身ともに健全な児童の
出生と育成に寄与してまいります

8020の里賞 コロナ禍でも工夫し連携して啓発活動を



左から審査委員長の山本秀樹先生、小前みどり先生、清水和正課長代理、佐藤拓代会長、原澤勇理事長

令和3年度「健やか親子21全国大会」が昨年11月4日（木）～5日（金）、いわて県民情報交流センター（岩手県盛岡市）と東京の収録会場と結びハイブリッド方式にて開催された（主催：厚生労働省・岩手県・盛岡市・母子愛育会・日本家族計画協会・母子保健推進会議）。同大会に併設して、本会議および全国母子保健推進員等連絡協議会の共催により『母子保健推進員等及び母子保健関係者全国集会』をオンラインにて実施し、その中で「健やか親子21-8020の里賞-（ロツテ賞）」の表彰式を行った。同事業は、乳幼児期から

の健康づくりの重要性の啓発と地域組織の育成支援を目的に創設したもので、当該活動の一層の活性化と、同様の取組が広がることを期待して行っているものである。

【審査基準】

1. 地域の課題やニーズを汲んだテーマの活動であり、より多くの対象者に啓発することに努めていること。

2. 行政、専門職、関係機関と連絡が密であり、今後活動の発展に期待ができること。

3. 複合的な取組、または活動（制作物含



盛岡市歯科医師会・岩手県歯科衛生士会盛岡支部の寸劇と紙芝居を併せた活動

む）に創意工夫があり、対象者の興味、関心を惹き行動変容に努めていること。
4. 地元の特産、特徴を取り入れるなど、地域の活性化や新たな連携の構築、拡大につながっていること。

*上記1～4のうち、2つ以上の要件を満たしていること。

【審査委員】

- 委員長 山本 秀樹 日本歯科医師会常務理事
- 委員 小前みどり 日本歯科衛生士会常務理事
- 清水 和正 株)ロツテ渉外課課長代理
- 佐藤 拓代 母子保健推進会議会長
- 原 澤 勇 母子保健推進会議理事長

主催：公益社団法人 母子保健推進会議
後援：公益社団法人 日本歯科医師会
公益社団法人 日本歯科衛生士会
協賛：株式会社ロツテ

令和3年度を受賞団体は2頁の表のとおりである。本稿では、優秀賞3団体の受賞活動の概要を中心に紹介する。なお、優秀賞受賞団体には、表彰状のほか、副賞として組織育成費5万円とキシリトールガム（対面で表彰式を行う場合は会場までの1人分の往復旅費もお支払い）、佳作賞受賞団体には、表彰状のほか副賞として図書プリペイドカード5,000円分とキシリトールガムを贈呈した。

今月のページ

- 8020の里賞 コロナ禍でも工夫し連携して啓発活動を 1～3
- 健やか親子21全国大会「表彰状授与の会」開催 3
- 紙上セミナー：8020の里づくり「むし歯を考える」 4～5
- 長引く新型コロナウイルス感染症は家庭にも～DV、虐待、女性の自殺の増加～ 6
- 全国の乳児院で暮らす子どもたちに紙オムツを届けたい！ 7
- 10か国語のリーフレットで日本での妊娠・出産・子育てを応援／編集帖 8